

# 令和4年度《学校経営計画》

名張市立蔵持小学校

学校長 本多 恵美子

1 学校教育目標	
「しあわせ」の学校をつくる ―主体的に学び、行動できる子どもを育てる―	

2 めざす学校像、児童・生徒像、教職員像、保護者・地域像									
○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちが「学校に行くのが楽しい」と思う学校</li> <li>○ 教職員が働く喜びを実感できる学校</li> <li>○ 保護者・地域に信頼される学校</li> </ul>								
○児童・生徒像	<table border="0"> <tr> <td>し：しんけんに考える人になる</td> <td>じぶんからとりくむ人になる</td> </tr> <tr> <td>あ：あいさつができる人になる</td> <td>あした、したいことがある人になる</td> </tr> <tr> <td>わ：わたしもあなたも大切に作る人になる</td> <td>わかろうとどりよくする人になる</td> </tr> <tr> <td>せ：せかいに目をむける人になる</td> <td>せきにんをもってやりぬく人になる</td> </tr> </table>	し：しんけんに考える人になる	じぶんからとりくむ人になる	あ：あいさつができる人になる	あした、したいことがある人になる	わ：わたしもあなたも大切に作る人になる	わかろうとどりよくする人になる	せ：せかいに目をむける人になる	せきにんをもってやりぬく人になる
し：しんけんに考える人になる	じぶんからとりくむ人になる								
あ：あいさつができる人になる	あした、したいことがある人になる								
わ：わたしもあなたも大切に作る人になる	わかろうとどりよくする人になる								
せ：せかいに目をむける人になる	せきにんをもってやりぬく人になる								
○教職員像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもに対する愛情や責任感をもつ教職員</li> <li>○ 学力・体力向上を実現するために授業改善に努める教職員</li> <li>○ 教育の専門家としての確かな力量と、豊かな人間性をもつ教職員</li> <li>○ 互いに支え合い、認め合い、組織的に取り組む教職員</li> <li>○ 保護者や地域住民の期待に応え、信頼される教職員</li> </ul>								
○保護者・地域像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校と連携して子どもを育てる保護者</li> <li>○ 学校と連携することで、教育効果を高める地域</li> </ul>								

3 学校の現状	本年度の改善方策
<p>(児童)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友だちや先生の話をしっかり聞くことができる。</li> <li>・ 基本的な生活ルールを守り、まじめに落ち着いて学習や生活ができるとともに、係活動や清掃活動等に一生懸命取り組む姿が見られる。</li> <li>・ 自分の思いを積極的に伝える力が弱い。</li> </ul> <p>(教職員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全教職員で、子どもたちの豊かな学びと育ちに向けて取り組もうとする。</li> <li>・ 助け合い協力して課題の解決に当たろうとする姿勢がある。</li> <li>・ ワークライフバランスを意識した働き方が十分できていない。</li> </ul> <p>(保護者・地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の教育活動を支援してくれる保護者・地域、ボランティアの体制・活動が充実している。</li> <li>・ 地域で子どもたちを育てる意識の共有を広げたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業改善に積極的に取り組み、児童に主体的に学ぶことの楽しさや成就感を味わわせ、自ら学び、行動できる力を養うとともに、自他のよさを認め合い、思いやりのある豊かな心を育む教育を推進する。</li> <li>○ 学校教育目標の具現化に向け、すべての教職員が一致協力して、組織的・計画的な学校経営、学級経営を進めるとともに、学校経営への主体的な参画を促すための意識改革を図る。</li> <li>○ 9年間の教育カリキュラムの構築を中心とした小中一貫教育を進めるとともに、学校運営協議会を活用し、主体的な学校運営への参画を通して、保護者・地域との連携を深める。昨年度作成した「学校・地域協働活動年間計画」を実施することで、更なるコミュニティ・スクールの推進・充実を図る。</li> <li>○ 活気あふれる職員集団であるために、ICT機器の活用等を更に進め、業務負担の軽減を図り、時間外労働の縮減を中心とした働き方改革の推進に努める。</li> </ul>

4 重点的な取組事項		実施期間				
番号	内容	2	3	4	5	6
1	「主体的に学ぶ喜び」を実感させ、学力・体力向上を実現する授業改善に取り組む。	○	○	○		
2	全教職員が学校経営に参画し、組織としての力を向上させる。	○	○	○		
3	家庭・地域と連携し、信頼される地域とともにある学校づくりを進める。	○	○	○		

## 5 令和4年度の重点目標

<b>重点的な取組事項－1</b>	「主体的に学ぶ喜び」を実感させ、学力・体力向上を実現する授業改善に取り組む。
<b>A 今年度の成果目標</b>	
授業がわかりやすいと感じている児童の割合…93%以上	
<b>B 目標実現に向けた取組</b>	
具体的な方策	
①	子どもたちが「主体的に学ぶ喜び」を実感し、学力・体力向上を実現する授業改善に取り組む。
②	持続可能な社会の創り手となるための教育の考え方を念頭においた教育活動(ESD)を推進し、子どもたちの能力を引き出し、自ら学び行動できる力、言語能力を育成する。
③	どの子どもも安心して学校生活を送れるよう特別支援教育の視点を大切にしながら教育を充実させるとともに、自分も仲間も大切にする心、健やかな体を育成する。

<b>重点的な取組事項－2</b>	全教職員が学校経営に参画し、組織としての力を向上させる。
<b>A 今年度の成果目標</b>	
「しあわせ」の学校づくりの実現に向けた取組が展開できていると感じている教職員の割合…100%	
<b>B 目標実現に向けた取組</b>	
具体的な方策	
①	全教職員の学校経営参画意識を高め、学年別「しあわせ」重点取組事項をもとに、学校教育目標の実現に向けた具体的な取組を進める。
②	教室での子どもたちの観察や Q-U・いじめアンケート等により子どもたちの状況を常に把握し、全教職員で共通した指導・支援ができるような教育活動・教育環境をつくる。
③	スクールカウンセラー・児童相談所・さくら教室等の外部機関と連携を図り、子どもたちにとって安心・安全な居場所としての学級・学校をつくる。

<b>重点的な取組事項－3</b>	家庭・地域と連携し、信頼される地域とともにある学校づくりを進める。
<b>A 今年度の成果目標</b>	
「学校は、保護者・地域との連携を大切にしている」と感じている保護者の割合…93%以上	
<b>B 目標実現に向けた取組</b>	
具体的な方策	
①	子どもたちの学習活動や生活状況等について、ホームページ・学校だよりや学年通信、個別懇談、地域の会議等で保護者、地域の人に情報提供をする。
②	学校運営協議会での熟議を充実させたり、授業参観・懇談を行ったりする中で、保護者・地域と連携・協働した取組を行う。
③	「学校・地域協働活動年間計画」の実施を推進することで、学校支援ボランティアをはじめ、保護者・地域の方々の参画を図り、学校・家庭・地域が協働して子どもを育てる体制をつくる。

## 6 学校における働き方改革の推進に向けた取組

上限時間に基づく目標		
成果指標①	1人当たりの月平均時間外労働	20時間以下(30時間以下の範囲)
	年360時間を超える時間外労働者数	0人 (変更不可)
	月45時間を超える時間外労働者の延べ人数	0人 (変更不可)
具体的な方策	<p>○タイムカードによる出勤・退勤時刻の把握の徹底により、時間外労働時間短縮に対する個々の意識改革を図る。</p> <p>○会議の回数を精選し計画的な仕事運営をすることにより仕事の効率化を図る。</p>	
休暇取得促進の目標		
成果指標②	1人当たりの年間休暇取得日数	20日以上(各学校で設定)
具体的な方策	<p>○休暇取得に対する個々の意識を高めるとともに、職員相互の意思疎通を図り、協力することにより休暇を取りやすい環境を創る。</p>	
学校独自の取組		
活動指標	設定した日の定時に退校できた職員の割合	60%以上
	予定通り休養日を実施できた部活動の割合	●%以上
	放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合	40%以上
具体的な方策	<p>○定時退校日を月1回設定する。</p> <p>○会議資料の事前配布を進めるとともに、事項書に所要時間を明記する。</p> <p>○ICTを活用した会議のペーパーレス化を進め、業務削減に繋げ、負担の軽減を図る。</p> <p>○ホワイトボードを有効活用し、朝の打合せの回数を減らす。</p>	